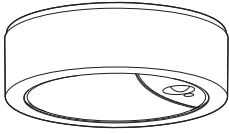


施工説明書

住宅用照明器具 (FreePaダウンシーリング)



品番 HH-SD0015L

お願い 施工時、使用の前に検知範囲、お出迎え時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。

お客様へ 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

⊘ してはいけない内容です。

⚠ 実行しなければならない内容です。

警告

■取付面

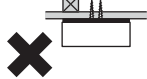
●次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・補強のない場所
(ベニヤ板や
石膏ボードなど)

・取付面が取付板パッキンより
小さい場所

⊘ 禁止



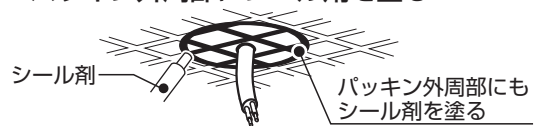
・傾斜した場所

・浴室などの湿気の多い場所



⚠ 必ず守る

●取付面と取付板パッキンのスキマおよび
パッキン外周部にシール剤を塗る



取付面と取付板パッキンとのスキマを防水
シール剤などで埋めてください。防水が不完
全な場合、火災・感電のおそれがあります。

◎この器具は水平天井面取付専用防雨型です。
(防湿型ではありません。)

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、
一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれ
があります。



◎調光器の取り外しが必要です。

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に
取り付けに不備があると火災、感電、落下に
よるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電の
おそれがあります。

⚠ 必ず守る

⚠ 必ず守る

警告

その他



- 接地工事は、電気設備の技術基準に従って確実に
行う
接地不完全な場合、感電のおそれがあります。



- 電源線・送り線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。
- 本体が電源線・アース線・送り線をかみこんでいないことを確認する
不備があると火災、感電のおそれがあります。

注意



- 温度の高くなるものの上に取り付けない
火災の原因となることがあります。
- ◎ ガス機器や排気筒の上に取り付けないでください。

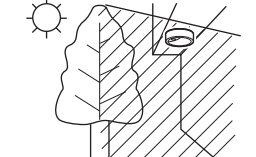
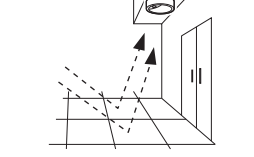
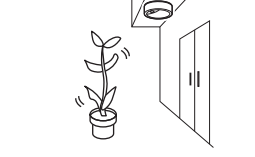
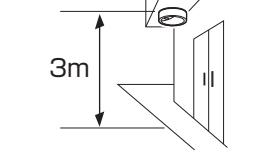
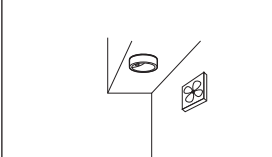
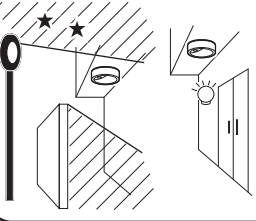



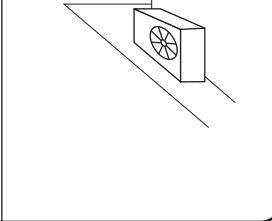


- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する
けがのおそれがあります。
- 配線図通りに接続する
器具破損のおそれがあります。

施工前のご確認事項

取付場所についてのご注意

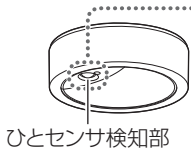
- 次のような場所には取り付けないでください。
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

<p>✕ 昼間でも暗い所や夜間でも明るい場所</p> 	<p>✕ 反射の強い床面のある場所</p> 	<p>✕ 風などでよくゆれる植物の近くなど</p> 	<p>✕ 取り付け高さが3mを超える場所</p> 	<p>✕ 換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機などの近く</p> 
	<p>✕ 交通量の多い道路に面した場所</p> <p>車など人より大きな熱源の場合、取扱説明書記載の検知範囲より広くなります</p> 	<p>✕ 前面に障害物のある場所 (透明なガラスも含む)</p> 	<p>✕ 専用連動器具や他の照明器具、壁に近い場所</p> <p>器具の中心から35cm以内</p> <p>器具の外枠から40cm以内</p> 	

- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

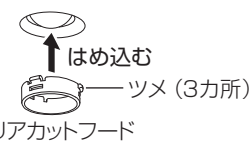
センサの検知範囲とエリアカット

- ヒトセンサはおよそ右図の「検知範囲」で検知します。右図の「検知範囲」を参考にしてください。(記載の検知範囲はあくまで目安としてお考えください。)
- 検知範囲は、付属のエリアカットフードを取り付けることで狭くできます。



エリアカットフードの取り付けかた

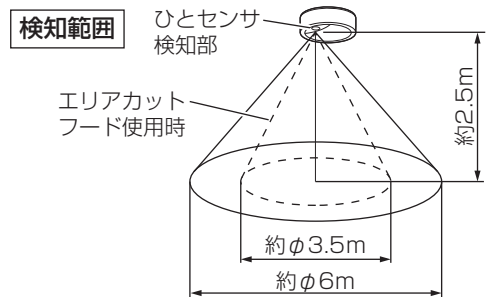
エリアカットフードのツメ(3カ所)をひとセンサ検知部と本体のスキマにはめ込む



↑ はめ込む

ツメ(3カ所)

エリアカットフード



ご注意

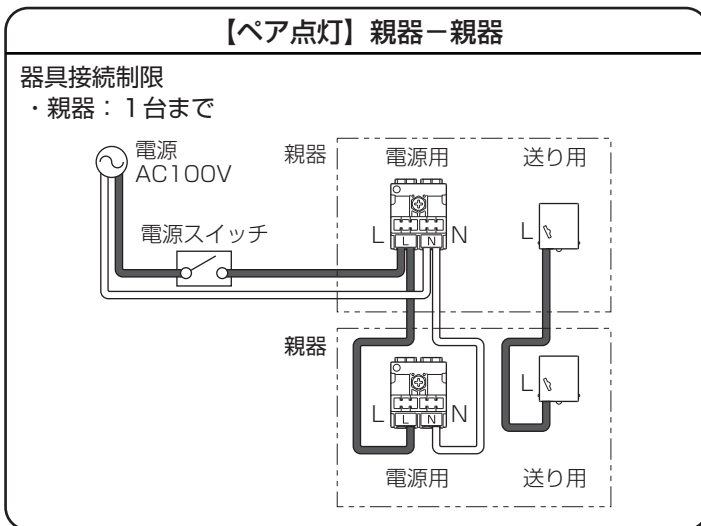
この照明器具のセンサは熱源の温度変化を動きとして捉えます。そのため人以外にも動植物、自動車なども検知します。また周囲条件(気温、地面の状態、取り付け高さなど)、進入する人の状態(服装、移動速度、進入方向、体温など)により検知範囲が大きく変化します。

- 検知範囲が広がる場合
 - ・ 冬場など気温と体温の差が大きいとき
 - ・ 人よりも大きな熱源(車など)が移動したとき
- 検知しない、検知感が鈍い場合
 - ・ 人が静止しているとき
 - ・ 周りが明るいとき
 - ・ 夏場など気温が体温に近づいたとき
 - ・ センサに向かってまっすぐ近づいたとき
 - ・ 検知エリアの周縁部分は場合により検知しにくいことがあります。
- 勝手に点灯する場合
 - ・ 道路を通行する人、車、犬、猫などを検知したとき
 - ・ 風、雨、木のゆれなどを検知したとき
 - ・ 急激な温度変化を検知したとき
 - ・ 換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機などの温度変化の影響を受けたとき
 - ・ ごく短い停電(瞬時停電)が発生したとき

配線についてのご注意

- 必ず壁スイッチを設けてください。
 - ・センサによる動作に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
 - ・連続点灯へ切り替えることができます。
 - ・長期間使用しない時やお手入れの際に電源を切ることができます。
- ペア点灯(親器-親器)を使用する場合、壁スイッチは1個のみとしてください。
- 3路スイッチは電源から1台目の親器の間でのみ設置できます。
- 接続した器具はセンサ付器具の点灯モードと同じ動作をします。
- 通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。
- ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につきスイッチ3個まででご使用ください。(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)
- 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。(故障ではありません)
- ペア点灯(親器-親器)の場合、必ず接続線の極性を合わせて配線してください。器具が破損するおそれがあります。

配線図

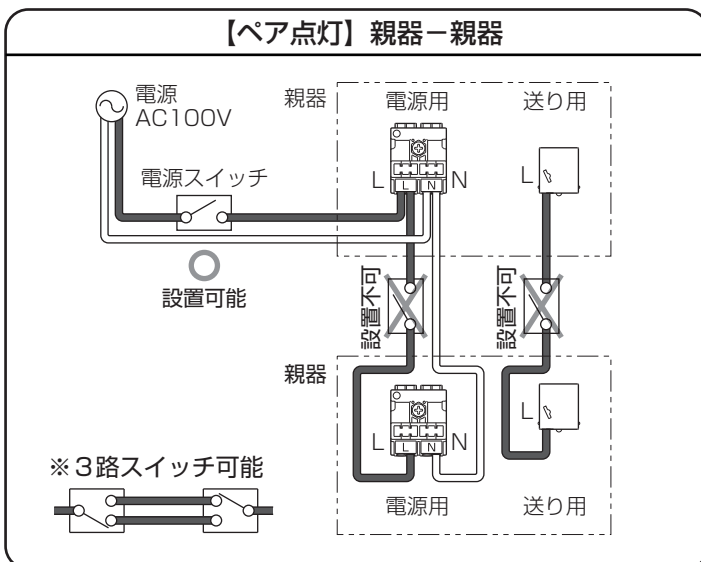


注意



配線図通りに接続する
器具破損のおそれがあります。

スイッチ設置箇所



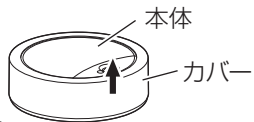
各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

●器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

取り付け前のご準備

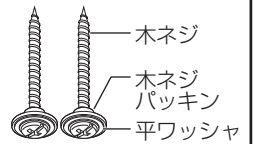
- ①カバーを本体から取り外す
- ②袋ナット(2個)を外し、本体から取付板を外す
- ③ネジ(器具内用アース線接続用)を緩め、器具内用アース線を取り外す



付属部品

□ 木ネジセット(2個)

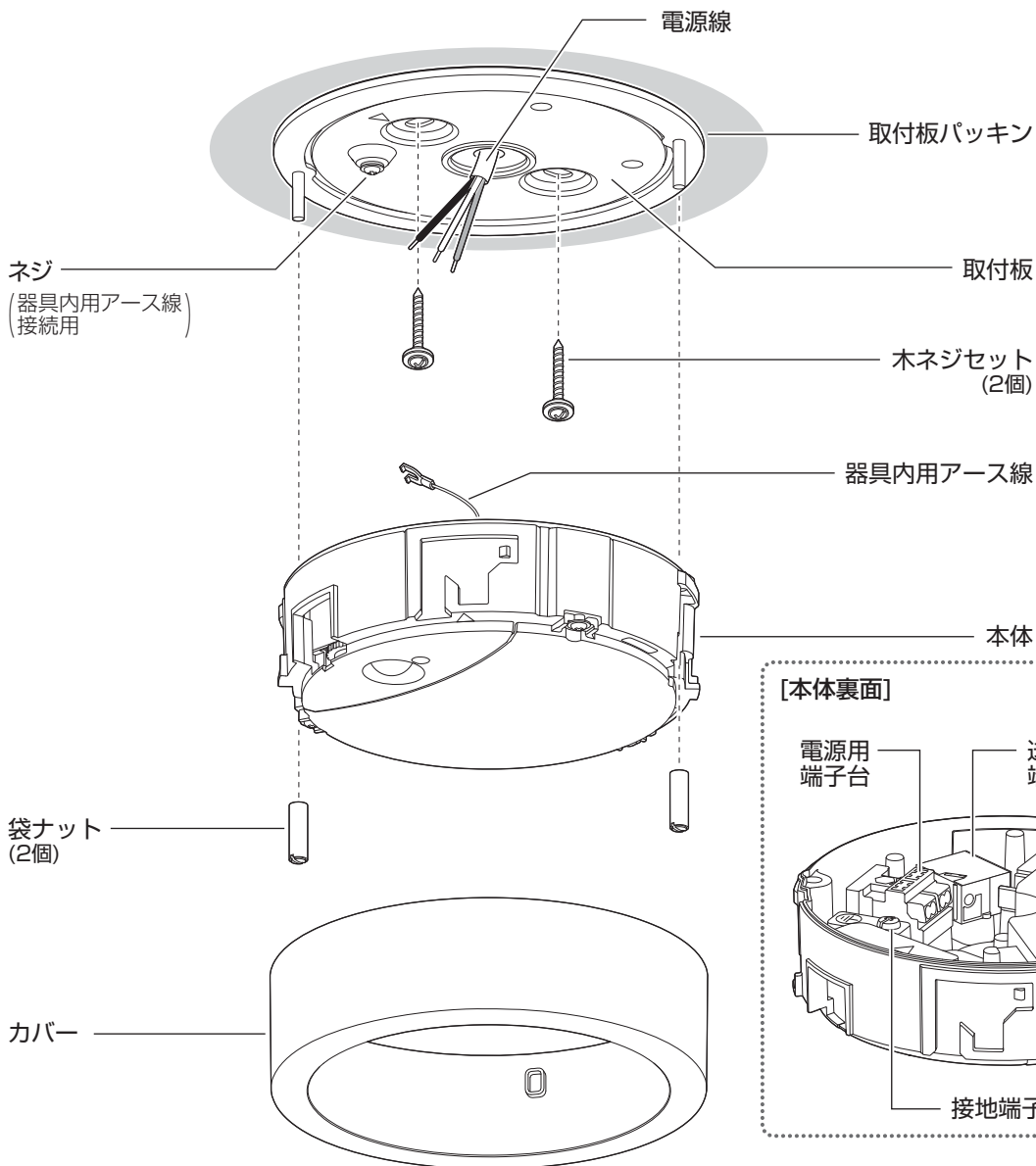
〔ご使用前に木ネジの根元まで、平ワッシャ・木ネジパッキンを押し下げてください。〕



□ エリアカットフード

※エリアカットフードは必要に応じて検知部に取り付けてください。

(☞ 3ページ 「センサの検知範囲とエリアカット」参照)
使用しない場合、必ずお客様にお渡しください。

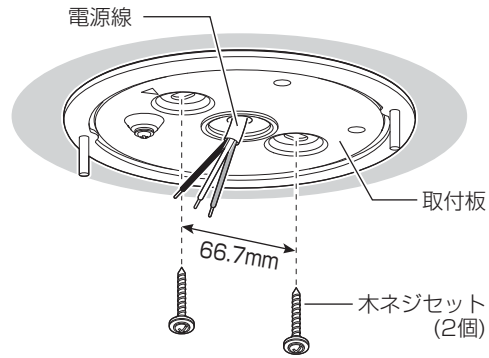


照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

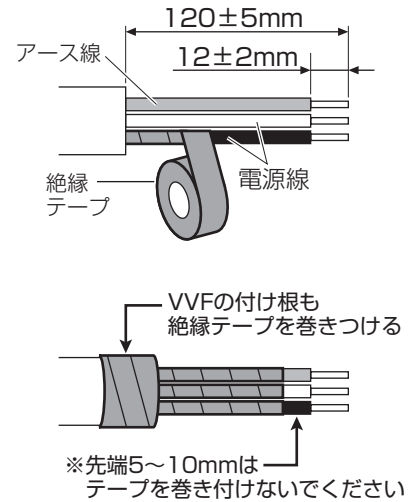
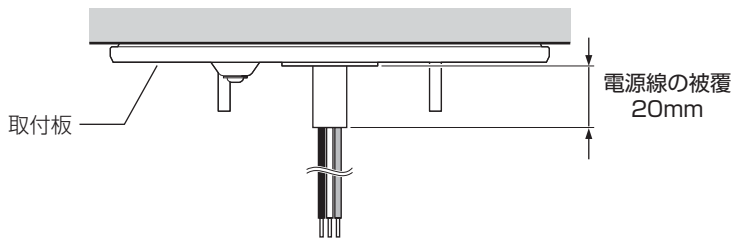
1 付属の木ネジセット(2個)で 取付板を取り付ける

- ・木ネジに平ワッシャ・木ネジパッキンが取り付けられていることを確認する。
- ・本体の中央穴に電源線を通し、木ネジセットを確実に締め付ける。
- ・取付ピッチ：66.7mm



2 電源線を加工する (送り配線する場合、送り線も同様の加工をしてください。)


- ・適合電線 VVFφ1.6単線
- ・VVF外被から絶縁テープを巻き付ける。

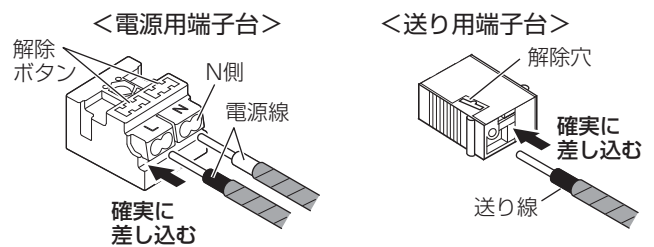


(注意)

- ・VVFφ2.0は電線が硬いため、器具が浮き上がり、正しく設置できない場合があります。
- ・ボックス取り付けの場合、電源線を引き出して指定の長さで加工を行い、結線後にボックス内に電源線を押し込んでください。

3 端子台に電源線・送り線を接続する

- ・接地端子ネジからD種(第3種)接地工事を行う。
- ・送り配線する場合、4ページ「配線についてのご注意」を参照し、送り線の接続を行ってください。接続が不完全な場合や送り容量オーバーの場合、火災・感電の原因となります。



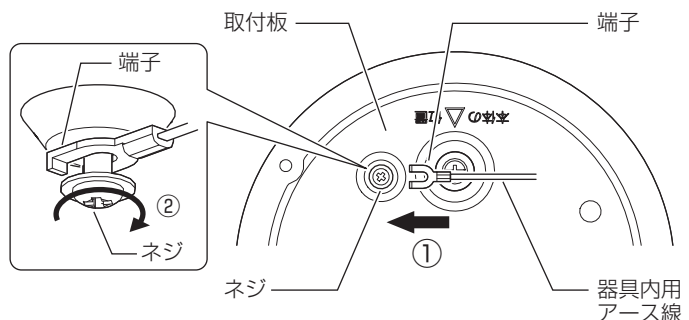
器具の取り替え等で電源線を外す場合

<電源用端子台>
マイナスドライバー等で解除ボタンを押しながら電源線を引き抜く。

<送り用端子台>
マイナスドライバー等で解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

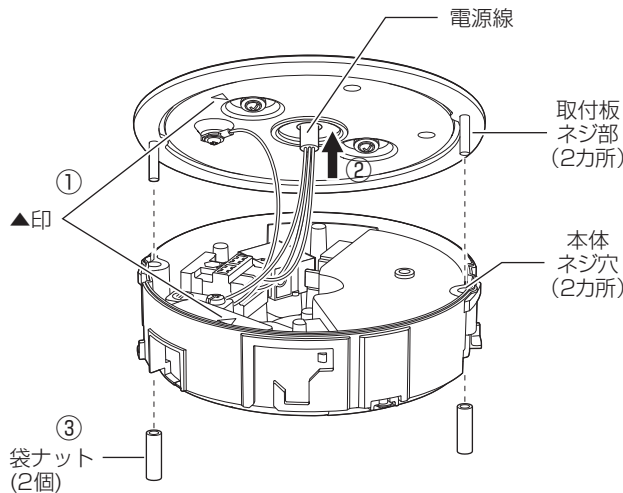
4 器具内用アース線を取付板に接続する

- ①取付板のネジをゆるめて器具内用アース線の端子をはめ込む。
・アース線のかみ込みを防ぐため、右図の矢印方向から端子をはめ込んでください。
- ②ネジを締め付ける。



5 本体を取り付ける

- ①▲を合わせて取付板のネジ部に本体のネジ穴を合わせる。
- ②天井内に電源線・送り線を押し込みながら取付板ネジ部を本体ネジ穴に通す。
- ③袋ナット(2個)をマイナスドライバー等で確実に締め付け、本体を固定する。



警告



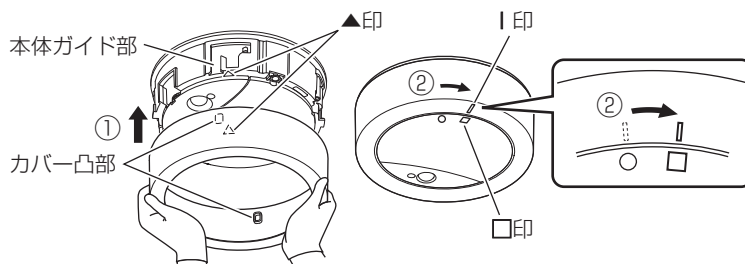
本体が電源線・アース線・送り線をかみこんでいないことを確認する
不備があると火災、感電のおそれがあります。

6 検知範囲とダイヤルを設定する (次ページ参照)

- ・カバーを取り付ける前に必ず行ってください。

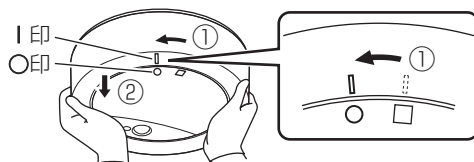
7 カバーを取り付ける

- ①▲を合わせてカバー凸部を本体のガイド部へ押し上げる。(カバーの▲印と凸部は内側にあります。)
- ②両手でカバーを支え、本体の□印にカバーのI印が合うまでカバーを右にまわす。



カバーの取り外しかた


- ①両手でカバーを支え、本体の○印にカバーのI印が合うまでカバーを左にまわす
・カバーを少し持ち上げるようにすると回転しやすくなります。
- ②カバーを外す



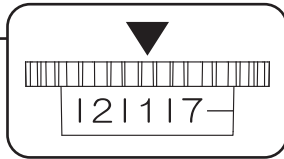
検知範囲とダイヤルを設定する

昼間でも設定できます

- 設定はカバーを取り外して行ってください。設定終了後、カバーを取り付けてください。

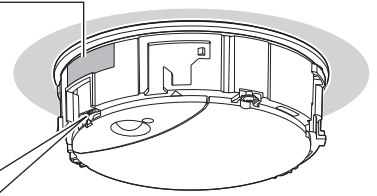
- ・カバーの取り外し・取り付けかたは
 前ページ
「各部のなまえと取り付けかた」手順 **7** 参照

出荷時の
ダイヤル設定



表示ラベル

調整ダイヤル	1	2	3	4	5	6	7
点灯する周囲の明るさ	暗			明			切
お出迎え時間(時間)	切	4	8	切	4	8	テスト



▼マーク

ダイヤル




ダイヤルの一部は切り欠いた形状になっていますが、不良ではありません。

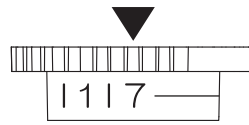
1 検知範囲を設定する

【手順】


- ①壁スイッチをOFFにする
- ②ダイヤルを右図の設定(7)にする
- ③壁スイッチをONにする
- ④センサの検知範囲の外に出る
 - ・照明が約40秒間点灯してから消灯します。



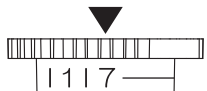
消灯しない場合は以下の原因が考えられます。

 - センサの検知範囲に入っている ⇒ センサの検知範囲から外に出る
- ⑤照明が消灯したら器具に近づき、検知範囲を確認する
- ⑥検知範囲を変更したい場合は、エリアカットフードを取り付ける
 3ページ「センサの検知範囲とエリアカット」参照



2 使いかたに合わせてダイヤルを設定する

- ・センサによる点灯には「お出迎えモード」「ON/OFFモード」「テストモード」があります。使いかたに合わせてダイヤルを設定してください。(詳細な点灯動作および設定方法は  「取扱説明書」参照)

モード	お出迎えモード	ON/OFFモード	テストモード																																																																								
動作	周囲が暗くなると、約20%の明るさで点灯します。(お出迎え点灯)人が近づくと100%点灯します。設定時間経過後にお出迎え点灯は終了し、人を検知すると100%点灯します。	周囲が暗くなり、人が近づいた場合に100%点灯します。	周囲の明るさに関係なく人が近づいた場合、約5秒間点灯します。(検知範囲を設定する時などにテストモードとして使用します。)																																																																								
ダイヤル設定例	 ダイヤルを「2」「3」「5」「6」のいずれかに設定する <table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>調整ダイヤル</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>点灯する周囲の明るさ</td><td>暗</td><td></td><td></td><td>明</td><td></td><td></td><td>切</td></tr> <tr><td>お出迎え時間(時間)</td><td>切</td><td>4</td><td>8</td><td>切</td><td>4</td><td>8</td><td>テスト</td></tr> </table> 「2」…周囲が暗くなるとお出迎え点灯を開始し、約4時間後に終了します。 「3」…周囲が暗くなるとお出迎え点灯を開始し、約8時間後に終了します。 「5」…周囲が少し明るいうちからお出迎え点灯を開始し、約4時間後に終了します。 「6」…周囲が少し明るいうちからお出迎え点灯を開始し、約8時間後に終了します。	調整ダイヤル	1	2	3	4	5	6	7	点灯する周囲の明るさ	暗			明			切	お出迎え時間(時間)	切	4	8	切	4	8	テスト	 ダイヤルを「1」または「4」に設定する <table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>調整ダイヤル</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>点灯する周囲の明るさ</td><td>暗</td><td></td><td></td><td>明</td><td></td><td></td><td>切</td></tr> <tr><td>お出迎え時間(時間)</td><td>切</td><td>4</td><td>8</td><td>切</td><td>4</td><td>8</td><td>テスト</td></tr> </table> 「1」…周囲が暗くなり、人が近づいた場合に点灯します。 「4」…周囲が少し明るいうちから、人が近づいた場合に点灯します。	調整ダイヤル	1	2	3	4	5	6	7	点灯する周囲の明るさ	暗			明			切	お出迎え時間(時間)	切	4	8	切	4	8	テスト	 ダイヤルを「7」に設定する <table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>調整ダイヤル</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>点灯する周囲の明るさ</td><td>暗</td><td></td><td></td><td>明</td><td></td><td></td><td>切</td></tr> <tr><td>お出迎え時間(時間)</td><td>切</td><td>4</td><td>8</td><td>切</td><td>4</td><td>8</td><td>テスト</td></tr> </table>	調整ダイヤル	1	2	3	4	5	6	7	点灯する周囲の明るさ	暗			明			切	お出迎え時間(時間)	切	4	8	切	4	8	テスト
調整ダイヤル	1	2	3	4	5	6	7																																																																				
点灯する周囲の明るさ	暗			明			切																																																																				
お出迎え時間(時間)	切	4	8	切	4	8	テスト																																																																				
調整ダイヤル	1	2	3	4	5	6	7																																																																				
点灯する周囲の明るさ	暗			明			切																																																																				
お出迎え時間(時間)	切	4	8	切	4	8	テスト																																																																				
調整ダイヤル	1	2	3	4	5	6	7																																																																				
点灯する周囲の明るさ	暗			明			切																																																																				
お出迎え時間(時間)	切	4	8	切	4	8	テスト																																																																				

- (注意) ・ダイヤルが“カチッ”とするまで回してください。
 ・テストモード以外は、検知範囲に人がいても静止している場合、約1分後に消灯します。